

機械器具 12 理学診療用器具
管理医療機器 汎用超音波画像診断装置 JMDN 40761000
(眼科用超音波画像診断装置 JMDN 11389000)

特定保守管理医療機器

SonoSite M シリーズの構成品
リニアプローブ SLAx/13-6

【禁忌・禁止】

適用対象(患者)

- ・次の被検者、部位には使用しないこと
 眼球向けではない検査種類を選択した状態での眼球への適用
 [眼球への適用を意図して設計しておらず、過大な超音波出力により、白内障、眼構造の損傷等、患者に重篤な健康被害を及ぼすおそれがあるため]

10~40 °C

15~95 %RH (結露なきこと)

700~1060 hPa

【使用目的又は効果】

SonoSite M シリーズは、経皮的及び/又は体腔的方法で様々な画像を取得するために使用する汎用超音波画像診断装置である。本装置は超音波画像の受信、描出および解析に使用する様々なソフトウェアパッケージおよびプローブに対応している。使用目的は、ソフトウェアパッケージと互換性のあるプローブによって特定される。本装置の検査種類には眼科用超音波画像診断装置の機能が含まれている。次の使用目的が含まれる：腹部、循環器、産婦人科、内視鏡、頭部、眼科、乳腺、表在（血管、静脈、頸部、神経、筋骨格、スモールパーツ等）、術中、ドプラー及びカラードプラー画像表示。また、本装置は ECG 参考信号を画面上に表示することができる。

リニアプローブ SLAx/13-6 は、非血管系手術に使用される手持型超音波プローブアセンブリで、局所的な術中の画像撮影のために手術部位内に配置する目的で設計されている。本プローブは、表在（筋骨格、神経、血管、静脈等）の超音波画像を必要とする分野で適用される。これらの分野において、患者は女性および男性を含む。本プローブが使用する画像表示モードには、B モード、M モード、及びドプラーモード（PW 及びカラー）がある。本プローブは再使用可能である。

〈使用目的又は効果に関する使用上の注意〉

本製品は心臓への直接適用を意図していない。

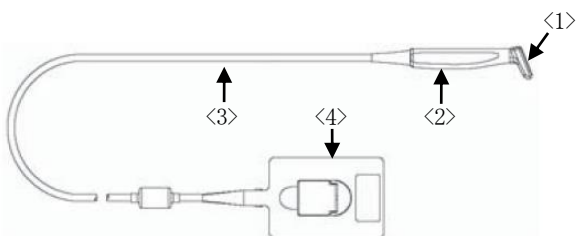
【形状・構造及び原理等】

1. 形状

リニアプローブ SLAx/13-6

(一般的名称：非血管系手術向け超音波診断用プローブ)

部品の名称	患者接触部の原材料
<1>プローブレズ：	シリコンゴム
<2>プローブ外装：	ポリサルフォンポリマー
<3>プローブケーブル	
<4>プローブコネクタ	



2. 動作原理

超音波画像診断装置は、プローブ、ビームフォーマー、シグナルプロセッサ、スキャンコンバータ及びモニタから構成されている。プローブは超音波パルス又は連続波を放射し、生体から反射したエコーを受信する。反射音響信号に関心部位の解剖学的情報が含まれるよう、ビームフォーマーは、プローブから照射される超音波の照射パターンを制御し焦点を絞る。反射音響信号はシグナルプロセッサによって電子信号に変換される。更に、この電子信号はスキャンコンバータによってビデオ信号に変換され、モニタ上に描出される。

3. 機器の分類

電撃に対する保護の形式による分類 (SonoSite M シリーズ)：クラス I 機器/内部電源機器

電撃に対する保護の程度による装着部の分類：BF 形装着部
水等に対する保護の程度による分類：IPX7

4. 動作環境

【使用方法等】

1. 組み合わせて使用可能な医用機器

- ・汎用超音波画像診断装置
 選任製造販売業者：富士フイルムメディカル株式会社
 販売名：SonoSite M シリーズ
 認証番号：219ADBZI00197000
 販売名：SonoSite S シリーズ
 認証番号：220ADBZI00071000
 販売名：SonoSite Edge シリーズ
 認証番号：224ADBZI00053000

- ・プローブカバー
 製造販売業者：センチュリーメディカル株式会社
 販売名：シブコプローブカバー/バイオブシーニードルガイドセット
 承認番号：21200BZY00226000
 使用方法については、センチュリーメディカル株式会社の取扱説明書を参照すること。

本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認してください。

2. 操作方法

- 1) プローブコネクタを超音波画像診断装置底面のコネクタ接続部に接続する。
- 2) 本体の電源をオンにする。
- 3) 超音波画像 (Bモード画像) が自動的に表示される。
- 4) 必要に応じ、患者情報を入力し、目的とする検査種類を選択する。
- 5) 本体の各種キーやボタンを使用し、画像調整や表示モードなどの調整を行う。
- 6) 必要に応じ、フリーズ、計測、印刷などを行う。
- 7) 検査が終了したら、本体の電源をオフにする。

〈使用方法等に関する使用上の注意〉

- 1) プローブは衝撃に弱く、容易に破損する可能性があるため、慎重に取り扱うこと。
- 2) 超音波出力について
次の注意事項に従い、超音波の熱的、機械的作用をよく理解したうえで使用すること。
超音波出力は、診断可能な範囲で、できる限り低レベルに設定すること。また、検査時間を短くする等の配慮をすること。
- 3) プローブが損傷することを避けるため、取扱説明書に記載した超音波ジェルを使用すること。
- 4) 故障の原因となるのでプローブコネクタ部は濡らさないこと。
- 5) 検査時は、感染防止のため、未使用のプローブカバーを装着すること。プローブカバーは、一回の検査ごとに交換すること。また、破れているプローブカバーは使用しないこと。
- 6) 滅菌済みのプローブカバーを使用すること。

* 【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- 1) 指定された機器以外の装置を接続した場合、所定のEMC性能 (電磁両立性) を発揮できないおそれがあるので指定機器以外は接続しないこと。
- 2) 本装置の傍で携帯電話等、電磁波を発生する機器の使用は、装置に障害を及ぼすおそれがあるので使用しないこと。
- 3) 本装置は、医療情報システムの安全管理に関するガイドラインに準拠した環境のネットワークで使用すること。
- 4) ネットワークに接続した環境で使用する場合は、コンピュータウイルス及び情報の漏洩等に注意すること。
- 5) セキュリティの確保された病院内のネットワークに接続して使用すること。

(妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用)

妊婦、妊娠の疑いのある者及び小児へ使用する場合は医師の指示のもとで慎重に行うこと。

超音波出力について、胎児に対する高出力、長時間の使用、特に妊娠初期の胎児への使用は、慎重に適用すること。

【保管方法及び有効期間等】

〈保管の条件〉

-35~60 °C

15~95 %RH (結露なきこと)

500~1060 hPa

〈耐用期間〉

1年 [自己認証 (当社データ) による]。

(但し、指定された使用環境において標準的な頻度で使用され、指定の保守点検と定期交換部品・消耗品の交換をした場合の年数であり、使用状況によっては異なる場合がある。)

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検 (日常点検)〉

1) 目視による点検

(1) 外観の確認

プローブの外観に異常がないことを確認すること。
ケーブル等に損傷や磨耗がないこと。

(2) 清浄性の確認

清浄な状態であることを確認すること。
プローブの洗浄・消毒方法は、取扱説明書等の指示に従って行うこと。

2) 機能の確認

(1) プローブの正常状態の確認

プローブの正常状態・正常動作を確認すること。
プローブを診断装置に接続し、正常に動作すること。
異音、異臭がないことを確認すること。

詳細は取扱説明書を参照すること。

〈業者による保守点検〉

定期的な保守点検はない。保守点検が必要な場合には弊社又は弊社の指定する業者に依頼すること。

詳細は取扱説明書を参照すること。

* 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

選任製造販売業者

富士フイルムメディカル株式会社

東京都港区西麻布 2-26-30

TEL : 0120-957174

サイバーセキュリティに関する情報請求先

〈〈選任製造販売業者と同じ〉〉

製造業者

FUJIFILM SonoSite, Inc. (米国)

[フジフイルムソノサイト、インク]

P11701-09

